

#### 4-⑮ 社会貢献・連携活動の状況

##### ■美術館大学センター

山形ビエンナーレは2020年（第4回）から、芸術・文化への造形が深い稲葉俊郎氏を芸術監督に迎え、新体制により「こころ・からだ・芸術」をテーマに開催している。

2022年（第5回）は、コロナ禍のためオンライン開催を余儀なくされた前回の成果も踏まえ、対面とオンラインのハイブリッド方式により、4年ぶりに中心市街地を会場に開催した。会期中の来場者は7万人を超え、県内外から多くのアートファンや家族連れが会場を訪れた。また、閉幕後もアーカイブ公開を継続しており、地域と時間枠を超えた新しい芸術祭の有り方を提示することができた。

##### ■全国高等学校デザイン選手権大会（デザセン）

28回目を迎えた本大会は、2020年のコロナ禍による開催中止を経て、開催スケジュールの見直しや決勝大会のオンライン開催など、大会全体にわたるリニューアルを図り実施した。

「探究型学習の成果発表の場」と位置づけて全国の高校から募集し、応募数は46校612チームにのぼり、二次審査を経て入賞した10チームが決勝大会に臨んだ。優勝となる「文部科学大臣賞」は筑波大学附属駒場高校、準優勝は兵庫工業高校、第三位は淀商業高校が上位の成果を修めた。